

令和4年度

中野区区民公益活動推進基金からの助成

公開プレゼンテーション



令和4年7月24日（日）

13時～／区役所7階会議室

中野区地域支えあい推進部地域活動推進課

プログラム

13:00 開 会

区民公益活動推進協議会 委員紹介

区民公益活動推進協議会 会長挨拶

プレゼンテーションの方法等の説明

13:10 プレゼンテーション開始

〈進行予定時間〉

13:10 特定非営利活動法人 数学月間の会

13:30 特定非営利活動法人
チャレンジャーズ江古田プロジェクト

13:50 中野グリーンアソシエーション

～ 休 憩 ～

14:20 なかの生涯学習サポーターの会

14:40 一般社団法人ねこのて

15:00 区民公益活動推進協議会から全体への意見

15:10 終了

●中野区区民公益活動推進協議会委員名簿（第9期）

（敬称略）

任期：令和4（2022）年6月1日～令和6（2024）年5月31日

区分		氏名	選出団体等
区民	団体推薦 (3人)	こじま しゅういち 小島 修一	中野区民生児童委員協議会
		○ かみむら こういち 上村 晃一	中野区社会福祉協議会
		たかす ひでかず 高須 秀和	中野区立小学校PTA連合会
	公募 (3人)	けいの えりな 慶野 英里名	
		たむら さんた 田村 三太	
		やまもと ともこ 山本 智子	
学識経験者 (4人)	◎ うしやま く に ひ こ 牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授	
	さかもと ふみたけ 坂本 文武	社会構想大学院大学教授	
	やまぎし え み り 山岸 絵美理	大月市立大月短期大学准教授	
	いまむら りょう 今村 亮	桜美林大学 高大連携コーディネーター	

◎は会長 ○は副会長

●公開プレゼンテーションの方法

1. プレゼンテーションを行う人数は、各団体2名までとします。
2. 1団体の発表は8分以内です（時間厳守）。
3. 発表は、助成応募事業の内容を中心に行ってください。
4. 発表終了後、区民公益活動推進協議会委員から質問が出されます。要点を簡潔にお答えください。時間は8分程度です。
5. プレゼンテーションは、当冊子とパワーポイント等で行います。
6. プレゼンテーション実施順番時に不在の団体については、審査対象から除外させていただきますのでご注意ください。
7. プレゼンテーションの様子はZOOMによるオンラインで公開いたします。

●助成の決定

区民公益活動推進協議会の審査の結果を踏まえ、区長が助成の決定を行います。応募団体には、8月中旬～下旬に助成金交付・不交付決定通知書を送付する予定です。

●プレゼンテーション実施団体

No.	団体名	代表者名	事業名	ページ
1	特定非営利活動法人 数学月間の会	岡本 和夫	数学まつり（万華鏡を作ろう・多面体を作ろう）	4
2	特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田 プロジェクト	宇野 雅子	「住民で作るご当地おで かけマップ事業」（江古田 編）	1 2
3	中野グリーンアソシエー ション	林 昌明	断熱DIY講座	1 8
4	なかの生涯学習サポータ ーの会	道林 京子	2022 区民が作るユニバ ーサルデザインマップ	2 6
5	一般社団法人ねこのて	理事長 戸田 由美子	ねこのて図書室小学生の ための勉強部屋	3 4

※次ページ以降は、各団体が作成した申請書類(一部)・資料を印刷したものです。

団体名	特定非営利活動法人数学月間の会
-----	-----------------

5 設立年月日	2019年 3月 22日
6 設立目的	この法人は、広く一般市民、学生・生徒を対象として、数学への共感を喚起されるように、数学が理学、光学、産業技術、医学、芸術、経済、その他あらゆる分野で社会を支えていることを分かり易く啓蒙し、数学と社会の架け橋となり、市民の数学力向上および社会の数学文化の発展に寄与することを目的とする。
7 会員数	41人 (うち中野区在住 3人)
8 会費	有 (年額 2,000円)
9 団体の行う 主な公益活動 (開始時期も含めて記入)	(1) 数学月間講演会の主催 (年10回) 2005年より毎年4~10件実施。 (2) 地域主催の数学イベントに協力 (万華鏡を作ろう, 多面体を作ろう) 2005~2019年とっとりサイエンスワールドに協力 (3) ウェブサイト構築, メルマガ発行, Youtubeチャンネル活動
10 主な活動地域	東京都内, およびZOOMによるリモート
11 ホームページの有無	有 (URL : http://sgk2005.saloon.jp)
12 機関紙の発行	無 ・ メルマガ発行 (毎週火曜日、発行1回当たりの部数61部)
13 直近事業年度の決算額	2021年度 192,643円

14 区からの助成や委託の実績 (過去3年間)

	年度	助成事業名/委託契約件名	金額
助成		なし	円
			円
			円
			円
委託		なし	円
			円
			円
			円

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業実施計画書

団体名	特定非営利活動法人数学月間の会
-----	-----------------

1 事業名	数学まつり(万華鏡を作ろう・多面体を作ろう)
2 事業の目的	小学校高学年以上の一般区民を対象にして、数学が社会を支えていることを実感し、数学への親しみを喚起できるようなテーマの講演とワークショップを実施し、数学(算数)学習への意欲を高める。
3 事業の日程	2022年 10月 1日(土) ~ 2023年 3月 31日(金)
4 事業の内容 (1)実施場所 (2)対象者 (3)内容と方法 (4)実施体制 (5)広報の方法 (6)その他	<p>〈概要〉3つのテーマ(万華鏡作り, 多面体作り,)を行う。同時に、これらの仕組みの基礎になる数学の解説を行い、数学(算数)へ興味を高めることができる。</p>
	<p>〈詳細〉</p> <p>(1) 中野区産業振興センター会議室等(予定) 11月20日(日), 12月18日(日), 1月29日(日)午後 準備(1時間)+講義+工作(2時間)+後かたづけ(1時間)=4時間使用</p> <p>(2) 小学校高学年以上の一般区民</p> <p>(3) 今年度はコロナ感染状況が不安定なので、小規模定員の集会、かつ、テーマを限定し実施する。 以下の3つのテーマについて、それぞれ独立に各1回ずつ行う。</p> <p>(3-1) 万華鏡を作ろう。 講義(30分)と工作(90分) 万華鏡の仕組みと対称性の数学 工作に必要な材料キット, 道具類は, すべて当NPOで用意する。 (光輝アルミニウム(2mm厚)鏡2枚, ガラスビーズ, 洗濯糊など)</p> <p>(3-2) 多面体を作ろう。 講義(30分)と工作(90分) 色々な多面体を見せ, 簡単な多面体の体積, 空間充填, 黄金比のパズル などに言及する。多面体のVR像もある。 工作に必要な材料キットはすべて当NPOで用意する。(厚紙製パーツ)</p> <p>(3-3) 楽しい算数数学。 講義と実習(3時間) パズル, 高次元グラフと約数の練習, エジプト紐など講義と実習。</p> <p>(4) それぞれの回に, スタッフ2名, ボランティア3名 スタッフ2名は当NPOから派遣。ボランティア3名は中野区高校生の募集をしたい。</p> <p>(5) 当NPO法人のウェブサイトでは広報する。ポスターチラシを作り区の施設に設置し広報する。</p>

(裏面に続く)

団体名	特定非営利活動法人数学月間の会
-----	-----------------

5 期待される効果	生徒が楽しい数学(算数)を自分の手で体験することは、数学へのモチベーションとなり、数学教育の素地を作るうえで重要である。生徒をとりまく両親や一般区民においても数学への共感と関心をもつことは、生徒へ良い影響を与える。ワークショップを体験することにより、そのような数学感覚を身に着けることができる。
6 事業の必要性	数学への学習意欲の強化が必要とされるが、そのモチベーションになるのは、数学が社会の色々な分野を支えており、生活に無縁でないことを、生徒、両親、区民が認識することである。しかし、学校カリキュラムではそのための十分なカバーを行うことができない。楽しい数学(算数)を体験し数学への興味を持ち数学感覚を身に着けることが必要である。
7 地域の人たちの事業への係わり	本来は、大規模な「数学まつり」として、地域の小中学校の先生方および地域教育委員会の協力を得て実施したい。本年は、コロナ感染状況もあり、テーマを3つに限定し小規模で実施する。このようなワークショップは参加者となるよりスタッフ側に入り、参加者を指導することのメリットは大きいので、自分の勉強の意味で高校生ボランティアとしての積極的参加を推奨する。
8 事業の特長	万華鏡製作キット、多面体製作キットは、10年以上の実施実績があり、オリジナルで作りやすく、大人も十分楽しめるもので、学校の授業での使用にも適する。単なる工作だけでなく、これらの基礎になる数学講義と組み合わせ実施するのは他にはない特徴である。
9 前年度の活動から発展させた点	「万華鏡を作ろう」、「多面体を作ろう」は、鳥取県主催の「とっとりサイエンスワールド」に2005～2019参加した。「とっとりサイエンスワールド」は夏休みに県内3会場それぞれ1日ずつ実施され、「万華鏡を作ろう」では、500個/年の作製をした。今回は、予算規模も定員も限定し、小集会として実施するが、逆にそのメリットを活かし、基礎の数学授業をワークショップに組み合わせ実施することにした点にある。
10 事業の次年度以降の取組予定	「万華鏡を作ろう」、「多面体を作ろう」は、鳥取県主催の「とっとりサイエンスワールド」に2005～2019参加した。「とっとりサイエンスワールド」は夏休みに県内3会場それぞれ1日ずつ実施され、「万華鏡を作ろう」では、500個/年の作製をした。今回は、予算規模も定員も限定し、小集会として実施するが、逆にそのメリットを活かし、基礎の数学授業をワークショップに組み合わせ実施することにした点にある。
11 事業の将来的な自立の見通し及び計画	小中学校、区教育委員会の協力を得て、地域の「数学まつり」を中野区主催で実施するのが望ましい。中高生のボランティアの参加は、この事業で育まれる人材育成であり特に重要であると考えている。

**中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業収支計画書**

団体名	特定非営利活動法人数学月間の会
-----	-----------------

〈収入〉

項 目	金 額(円)	内 訳
自己資金	72,410	当NPO法人事業費より
事業に伴い区民から徴収する額	84,000	参加費(材料費)700円/人×40人/回×3回
区民公益活動推進基金からの助成	112,500	
その他の資金		
合 計	268,910	

〈支出〉

	項 目	金 額(円)	内 訳(積算根拠)
助成対象となる経費の内訳	謝礼金	0	
	保険料	0	
	印刷・製本費	24,000	配布資料印刷費(8頁×240部)20,000円 ポスターチラシ印刷費(A4,600枚)4,000円
	消耗品等購入費	92,000	教材材料費700円×40人×3回 教材消耗品(ハサミ40人, ビニールテープ40, 実験容器20, ロープ等)8,000円
	施設使用料	20,400	午後(4時間)×3回 東大駒場002教室6,800円×3(未定) 中野区産業振興センター(大)が可能なら変更
	その他の経費	32,400	材料運搬費2,400円×6回 ボランティア謝礼2,000円×3名×3回
	小 計 : ①	168,800	
助成対象外となる経費の内訳	謝礼金	44,110	11,370×3(当NPO会員講師3人) イラストレータ使用デザイン費10,000円
	旅費・交通費	50,000	講師旅費(2名)30,000+20,000
	スタッフ交通費	6,000	スタッフ1名(3回)交通費3回×2,000
	小 計 : ②	100,110	
	合 計 : (①+②)	268,910	

◎助成金申請額を減額して助成金の交付を決定した場合、事業の実施は可能ですか。

(可能)

■地域「数学祭り」の先行例

とっとりサイエンスワールド——美しい数学 楽しい算数——



とっとりサイエンスワールドは、鳥取大学地域学部、矢部敏昭教授(副学長)が中心になって 2007 年にスタートし、2019 年まで 13 年間続いた。発足時は、東部(鳥取市)だけで実施したが、すぐに西部(米子市)と東部で実施するようになり、4 年目からは、西部、東部、中部(倉吉市)の3会場に広がった。鳥取県、鳥取県数学教育会が主催、鳥取県教育委員会、各地区教育委員会が後援し、小・中学校の先生方が活動の中心になっている。多数の高校、短大、大学生のボランティア参加もあり頼もしい。すっかり地域に定着し、子供、両親から老人までが楽しみに集まる「数学フェスティバル(参加無料)」となった。

2011 年を例にとると、西部(8 月 21 日)では、雨模様の午前中であったが、550 人の参加者、東部(8 月 28 日)では、晴天に恵まれ 1,256 人の参加者、中部(9 月 25 日)では 800 人を超える来場者があった。各会場で、学生ボランティア 34 人を含む 134 人のスタッフ(小・中学校の先生が中心)がさまざまなワークショップを担当した。小さい子供が進んで計算力検定に参加したり、問題に挑戦してスタンプを集めたりし、数学・算数を恐れず楽しんでいる雰囲気—学校カリキュラムとは全く異なる—を見ると将来が頼もしい。ボランティア側も子供たちといっしょに数学・算数に親しむことで、数学感覚がいっそう身にしみ込む。立体模型、数独、セパタクロ、エレガントな解き方コンクール、などの 30 種ほどのワークショップ・コーナーがある。私も「万華鏡をつくろう」で毎年参加している。小さな子供から大人まで自分の万華鏡を覗いて本当に楽しそうである。私の万華鏡は、壁紙模様の対称性(平面群)や3角形の平面分割で生成できる対称性を体験させようと始めたものだ。その道の達人事業(巡回型ワークショップ)では、私は「万華鏡と結晶学の達人」として、2005-2007 年に小学校 15・中学校3・高校1を訪問し、約 1,300 人の生徒が自分の万華鏡を作製した。ここでも、物がきちんと作れる器用さは理論とは別の能力で、不器用な先生よりも良いものを作る小さい子供がいるのを見た。このような自分の手で体験できる遊び(数学祭り)を通して、数学感覚は身に着くものである。

■中野区「数学祭り」の計画

本年度は、コロナの感染流行が不安定なので、40 人程度の定員制での実施を考えている。逆に、小クラスのメリットを活かし、「ワークショップと算数数学とが結びつく」ようにする。今年度は、第 1~3 回を実施する。もし状況が安定すれば、第 4 回の繰り上げや、定員緩和も対応したい。

- 第 1 回：万華鏡を作ろう
- 第 2 回：多面体を作ろう
- 第 3 回：エジプト紐で遊ぶ
- 第 4 回：パズル大会(来期の予定)

2005年に発足の「数学月間の会」は、2019年に「NPO 法人数学月間の会」になりました
■NPO 法人「数学月間の会(SGK)」設立趣旨

数学はあらゆる文化・学術の基盤で、科学、工学、産業、芸術、医学、経済など、社会のあらゆる分野を数学が支えています。しかしながら、一般市民、特に、生徒・学生とその両親は、数学学習を敬遠する風潮にあり、これが数学力の低下をもたらしています。

米国の「数学月間」MAM(Maths Awareness Month)は、1986年4月17日のレーガン宣言により国家的な行事として開始され、今日に至ります。米国 MAM は、数学系の学協会が参加するJPBM(Joint Policy Board for Maths)が、毎年、社会を反映した数学テーマを選定し、毎年4月に種々の数学イベントを展開し、国民からの事後評価も受けます。皆が知りたい時局の数学を、種々のレベルで学習できるウェブ・サイトができ、そこにエッセイや論文が集積され、そのテーマの数学を基礎から最先端まで、学生が独習できる優れたガイドになります。MAM 期間には、一般から専門家まで、小学生から大学生まで、いろいろなレベルのイベントが全国で展開されます。レーガン宣言で国家的行事の MAM を決断した背景には、国民の数学力が低下し、米国の産業力も低下するとの焦りがあったといわれます。日本も同様な状況にあり、国家的行事の数学月間が望まれます。

近年、日本でも STEM(科学・技術芸術・工学・数学)教育が叫ばれていますが、これも 2003年に始まった米国の STEM 教育に源を発します。これらの科目の中で統合的に数学を教える試みは必要ですが成功していません。数学月間の視点は STEM 教育へも貢献できるものと思います。

現在の日本でも、数学を学ぶ同好会、塾、講習会、講演会などは種々あります。これらも重要であるのは言うまでもありませんが、我々の目指す「数学月間」活動の主力は、このような数学の内部にとどまる活動ではありません。数学がかかわるあらゆる分野を横断して、数学を紹介する一般市民に向けた活動です。数学とは計算道具ではありません。論理的な思考そのものが数学です。論理を軽視する社会は成り立ちません。

この問題を解決するために、この法人は、一般市民、学生、生徒に対し、数学が社会を支えている事例を、わかり易く啓蒙する事業を行い、数学への社会的共感を獲得し、社会の数学力の向上、数学文化を普及させ、社会の発展に寄与することを目的とします。

日本の数学月間は、2005年に日本数学協会が7/22-8/22を数学月間と定めたことに始まります。任意団体「数学月間の会(代表;故片瀬豊)」は、2005年の発足以来、ボランティア・ベースながら、毎年、数学月間の初日7/22に、数学月間懇話会を開催し、計37件(2019年時点)の啓蒙的な講演を一般市民に対し実施することで、数学啓蒙活動をこの時期に集中し、数学の重要性を社会にアピールしてきました。このような数学月間活動は、米国 MAM のように国家的行事として行うべき性質のもので、個人寄付金とボランティア・ベースで行う現状には限界があります。数学愛好者の同好会ではなく、活動を社会に波及させるためには、NPO 法人格を得た「数学月間の会」が、数学の内部にとどまらず社会の諸分野に横断的に呼びかけ活動し、「社会と数学の架け橋」になることが必要です。

令和4年度 事業計画書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 数学月間の会

1 事業実施の方針

数学が社会を支えていることを、わかり易く啓蒙し、数学への共感を喚起するために、数学月間（毎年、7月22日-8月22日）のキャンペーンを行うほか、数学が社会のさまざまな分野で使われるさまを紹介する講演会やワークショップを行う。講演実施方法はZOOMと集会のハイブリット型とし、新型コロナの状況を見て、市民ワークショップを再開する。令和3年度は、講演録出版企画の進展はなかったが、方法検討を継続し、講演録概要の整備を始める。今期もウェブ活動に重点を置き、数学を市民に紹介するウェブ・サイトのさらなる充実、メルマガ発行、Youtubeブランド・チャンネル「NPO数学月間の会」の活用、ZOOMによるオープン・イベント（無料）を行い数学文化の普及を目指す。

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費の 予定額 (千円)
(1) 社会を支える数学に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催事業	毎年数学月間の日に開催している市民のための講演会（数学月間懇話会）実施	7月22日～8月22日 数学月間に4回	ZOOMによるリモート開催	4人	一般市民 4×40人	44
	数学を知ろうセミナーおよび講演会の実施	9月～1月に6回	ZOOMあるいは集会	6人	一般市民 6×40人	66
(2) 地域や学校主催のイベントへの協力と教材提供による数学の大众化事業	地域主催の数学イベントに連携参加。数学が学べるワークショップの実施。（万華鏡、多面体など）	10月以降	未定	3人	一般市民、子供 40人	60
(3) ウェブ・サイト、通信などによる情報発信事業	ウェブ・サイトの構築	月1回	ZOOM実施	4人	一般市民 不特定多数	20
	数学月間教材紹介	毎日	都内事務局			10
	メルマガ発行 Youtube活動班の結成	毎日	各地分散実施			10
(4) 講演録や勉強会資料の出版事業	来期以降の講演録出版に向けて企画検討。講演録概要の整備を行う。	未定	都内	4人	一般市民 不特定多数	5
(5) 数学教材及び数学に関する書籍の販売事業	社会を支える数学の啓蒙に使う教材や書籍（ウェブ・ワークショップ教材含む）の販売方法検討。	今季実施せず	未定	2人	一般市民 不特定多数	0

団体名	特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田プロジェクト
-----	--------------------------------

5 設立年月日	2021年 1月 13日
6 設立目的	地域福祉の増進
7 会員数	15人 (うち中野区在住 8人)
8 会費	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (年額 1,000円)
9 団体の行う 主な公益活動 (開始時期も含めて記入)	地域資源を活用した講座、学習会、発表会等を開催する事業(主催事業) 講座、学習会、発表会等の担い手を発掘・育成する事業(支援事業) 住民の孤立防止に資する情報の提供を行う事業～申請に係る事業
10 主な活動地域	中野区江古田地域
11 ホームページの 有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (URL: https://egota-3.jimdofree.com/) (フリースペース江古田3)
12 機関紙の発行	<input checked="" type="radio"/> 無・有 (発行間隔: 、発行1回当たりの部数
13 直近事業年度の 決算額	2021年度 43万円

14 区からの助成や委託の実績 (過去3年間)

	年度	助成事業名/委託契約件名	金額
助成			円
			円
			円
			円
委託			円
			円
			円
			円

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業実施計画書

団体名	特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田プロジェクト
-----	--------------------------------

1 事業名	「住民で作るご当地おでかけマップ事業」(江古田編)
2 事業の目的	高齢者、障害者、若者、子育て世代、勤労者、すべての人々が、住み慣れた地域で生き生きと楽しく暮らし続けることは社会の理想である。しかし、様々な要因から地域とのつながりを十分持たず、孤立しかちとなる人も少なからずいる。こうした現実に対処するに即効薬はないが、地域の魅力を伝え、今より少しでも多く地域に関心に向けて貰うことから始めることが一つの方途となり得ると考えられる。幸い、中野にはそこそこに魅力的な自然や歴史ある建造物が残っており、意識すれば十分に楽しむことができるし、ご当地の自慢スポットともなる。図書館や公民館などの社会資源も豊富である。そうした魅力を満載した地図があれば、普通の生活を続けながらも地域とのつながりを深めることができる。また、作成過程に地域に住む住民の参加が得られれば、地図の作成自体が地域づくりの一助ともなる。こうした活動を通じて、冒頭に掲げた理想に少しでも近づけるようにしていきたい。
3 事業の日程	4年 9月 1日 (木) ~ 5年 3月 31日 (金)
4 事業の内容	<p>〈概要〉住民が地元と感ぜられる地域に存在する自然、歴史、文化、社会等にかかわるスポットを、その地域の住民が足で歩いて調査し、一枚で網羅的に戻ることができる地図を作成する。地図は紙媒体のほか、web上でも閲覧できるようにすることで、汎用性を高めるとともに随時更新を可能とする。</p> <p>(詳細)</p> <p>(1)実施場所 江古田地域(フリースペース江古田3の所在地)</p> <p>(2)対象者 地域住民、当法人の会員、その他活動に関心がある人</p> <p>(3)内容と方法 ①自然や歴史に詳しい専門家を招いて学習会を行う(9月~12月に3回) ②参加者が対象地域をくまなく歩いて自分のお気に入りスポットを決め推薦レポートを作成する(10月と翌年1月に街歩き調査各1回、その間に各人が独自に取材する) ③各人の推薦の中から地図に掲載するスポットを選ぶ(翌年2月) ④地図を作成し、お気に入りスポットの情報を書き込む(翌年2月) ⑤web上の地図には写真を貼り付け臨場感を高める(情報の書き込みはお気に入りスポットの推薦者が行う) ⑥地図を地域に配布するとともにホームページに掲載する</p> <p>(4)実施体制 当法人の担当会員及び地域の協力者からなる実行委員会を作る</p> <p>(5)当法人のホームページのほか、区民の広場、中野区が提供してくれるネットワーク等を活用して参加者を募る</p> <p>(6)その他:江古田地域で一定の成果が得られたら、順次、他の地域にも拡大していきたい</p>

(裏面に続く)

団体名	特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田プロジェクト
-----	--------------------------------

5 期待される効果	様々な理由から地域とのつながりを十分持てず孤立しがちになる人に地域の魅力を満載した地図を提供することで、普通の生活をしながらも地域とのつながりを深めていくためのよすがとしていただく。また、地図の作成を通じて、住民による地域づくりの一助ともなる。
6 事業の必要性	すべての人が住み慣れた地域で生き生きと楽しく暮らし続けることができる社会に向けて、住民みずからが行うことができる活動をもっと増やしていく必要がある。当事業は、その一つのモデルとなり得る。
7 地域の人たちの事業への係わり	地域住民の参加を得て、実行委員会形式で事業を進める。また、江古田地区町会連合会事務局や中野区社会福祉協議会に協力を要請する。
8 事業の特長	地域住民手作りの活動である。町会、PTA、老人会、区民活動支援センターや図書館などで行われている活動とも連続性を持たせることができると考えている。
9 前年度の活動から発展させた点	
10 事業の次年度以降の取組予定	江古田地区で一定の成果が得られれば、他の地域でも同様の活動を行うことが可能となるし、そうしていきたい。その際には、それぞれの地域で地元密着で活動している団体や個人と共同で行うことになる。
11 事業の将来的な自立の見通し及び計画	当法人の周辺地域に限れば大な資金を必要とすることではなく、むしろ社会的評価を得ることが大きい(例えば、チラシを置いて貰いやすくなるので募集が容易になるなど)。助成金に依存する発想はないが、助成を受けられるに越したことはない。

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業収支計画書

特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田プロジェクト

〈収入〉

項目	金額(円)	内 訳
自己資金	56,540	
事業に伴い区民から徴収する額	25,000	学習会、街歩き調査の参加費等 (500円×10人×5回)
区民公益活動推進基金からの助成	162,800	
その他の資金	0	
合 計	244,340	

〈支出〉

項目	金額(円)	内 訳(積算根拠)
助成対象となる経費の内訳	謝礼金	60,000 自然、歴史、建造物等の専門家に対する謝金(2万円×3人)
	保険料	4,340 行事保険(62円×(10人×3回+20人×2回))
	印刷・製本費	20,000 地図の印刷費用
	消耗品等購入費	10,000 各種資料の制作に使用する消耗品費用
	施設使用料	0
	その他の経費	150,000 地図のデザイン料 10万円 ホームページ改修費用 5万円
小 計 : ①	244,340	
助成対象外となる経費の内訳		
	小 計 : ②	0
合 計 : (①+②)	244,340	

◎助成金申請額を減額して助成金の交付を決定した場合、事業の実施は可能ですか。

可能 ・ 不可能)

特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田プロジェクト

第2期 事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

1. 概況

当法人は、2020年10月1日に設立後2021年東京都の認証を受けて1月13日より特定非営利活動法人として活動している。昨年度は第2期にあたり、新型コロナウイルスの下で活動に制約を受けたが、所期の目標は概ね達成できた。財政状況も当初の想定よりもかなり良かった。今後の発展に向けた組織運営の基礎固めは概ねできた。

2. 事業の実施状況

(1) 法人運営

2021年6月17日に総会を開催した。(同日の総会前に理事会を開催)

(2) 事業運営

コロナ対応のため実施人員を絞りつつ各種事業を実施した。

なお、中野社協の助成(介護予防に資する住民主体の活動促進助成)を受けて、のぼり(ちょきボラの会)と感染防止グッズを整備した。

- 地域資源を活用した講座、学習会、発表会等を開催する事業(以下主催事業)
 - 「江古田のまちの芸術祭」に参加(2021.10.30~11.7)
 - レース編み教室(4回)、絵手紙教室(2回)を開催
 - モヤモヤ教室(家計相談)を中野区の後援名義を得て実施
 - ちょきボラの会(8回)を中野社協の協力を得て実施 参加人員 延べ190人
- 講座、学習会、発表会等の担い手を発掘・育成する事業(以下支援事業)
 - アトリエ風作品展等(7回)
 - 猪突モウ進展
 - 中野建物写真展
 - 江古田豆知識
 - 洋裁教室(9回)
 - 手芸講座(7回)
 - 子供英語教室(3クラス) 参加人員 延べ430人
- 会場の提供
 - 音楽鑑賞会(9回)
 - 子供食堂(2回)
 - その他(16回) 利用人員 延べ200人
- 周辺地域のお出かけマップについては、賛同者を確保したものの実施には至れず。

(3) 財政運営

- 単年度収支は、経常収益42.8、経常費用33.3万円で9.4万円の黒字となった。
- 会員が5名増加して会費収入は1.8万円、寄付金は10.1万円であった。
- 中野社協から1.2万円の助成を受けている。
- 収支差額は正味財産となって次年度に繰り越される。(12.4万円)

特定非営利活動法人 チャレンジャーズ江古田プロジェクト

第3期 事業計画

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(1) 法人運営

定款に基づき適正に行う

(2) 事業運営

○フリースペース江古田3が住民の交流の場としての役割りを果たせるよう一層活動の充実を図る。

○地域資源を活用した講座、学習会、発表会等を開催する事業（主催事業）及びその担い手を発掘、育成する事業（支援事業）を推進する。

○これらの活動を踏まえ、住民の地域活動への参加を促進する手法等について、会員および有識者からなる委員会を設け研究を行い、活動にフィードバックする。このため、ニッセイ財団に研究助成を申請中。

「高齢者の受援力向上プログラムの研究・開発事業」 初年度 188万円

○周辺地域のお出かけマップは作成に着手する。このため、中野区区民公益活動推進基金に助成を申請中。

「住民で作るご当地自慢マップ事業」 事業規模 25万円

⇒秋口から学習会と街歩きを開始しますので奮って参加ください

○レンタルスペースを活用して手仕事の作品の展示・販売を行う。

(3) 財政運営

当初は前年度実績を反映して編成する。

研究助成等が採択された時には、確定額を予算に反映させるために補正を行う

団体名	中野グリーンアソシエーション
-----	----------------

5 設立年月日	平成 30年 3 月 26 日
6 設立目的	環境問題への関心・取り組みを通して、地域に根ざした緑の近隣組織の構築を目指し、中野の活性化を目的とする。
7 会員数	8人 (うち中野区在住 4人)
8 会費	無 (年額・月額 円)
9 団体の行う主な公益活動(開始時期も含めて記入)	平成30年4月より、住まいの断熱の重要性、方法、断熱の実績などの発信
10 主な活動地域	東中野周辺 (白桜小学校学区程度)
11 ホームページの有無	無 (URL :
12 機関紙の発行	無 (発行間隔 : 、発行1回当たりの部数
13 直近事業年度の決算額	R3 年度 80,000 円

14 区からの助成や委託の実績 (過去3年間)

	年度	助成事業名/委託契約件名	金額
助 成	R2	中野区区民公益活動推進基金からの助成	80,000円
	R3	中野区区民公益活動推進基金からの助成	53,000円
			円
委 託			円
			円
			円
			円

**中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業実施計画書**

団体名	中野グリーンアソシエーション
-----	----------------

1 事業名	断熱DIY講座
2 事業の目的	自分で出来る自宅の断熱対策を伝え、実行することにより家庭からのエネルギー起因CO2排出量を削減する
3 事業の日程	①2022年7月23日(土)13時～17時 ②2022年7月31日(日)10時～17時 ③2022年10月11日(火)18時30分～20時 ④2022年11月11日(金)18時30分～20時 ⑤2022年12月12日(月)18時30分～20時 (予定)
4 事業の内容	<p>〈概要〉</p> <p>国土交通省の調査結果によると、日本の住まいで次世代省エネ基準を満たしている住宅は5%となっており、残りの住宅は断熱性能があまり高くないといえます。つまり、断熱DIYを行う余地と実施した際の高い効果が期待されます。無断熱と次世代省エネ基準を満たしている住宅では冷暖房に起因するCO2は60%削減できるという試算もあります。また、コロナ対策で、働き方も多様化しており、自宅の断熱性能の向上が求められています。そこで、まずは自分で出来る断熱対策方法と、断熱すべき箇所などの探し方をお伝えする講座を令和2年度、令和3年度に引き続き、開催します。</p> <p>〈詳細〉</p> <p>(1)実施場所:①、②中野秘密基地サテライト ③、④、⑤区民活動センターや民間の貸会議室もしくはWEB</p> <p>(2)対象者:自分で住まいの断熱対策をする意思のある方</p> <p>(3)内容と方法:</p> <p>①、② 2回連続講座。①で断熱DIYの講座とDIY箇所の下見を実施。②で断熱DIYの体験を行う</p> <p>③、④ 単発募集 断熱DIYの講座 平日の夜やWEBなど、曜日や時間、ツールを変えて、様々な属性の方に断熱DIYを伝える</p> <p>⑤ 断熱DIY成果発表会 断熱DIYの実施成果を発表する</p> <p>(4)実施体制</p> <p>講師:林(省エネ建築診断士) 参加者:受講者自身で断熱DIYを実施する方法を伝える能力、経験を持った方</p> <p>(5)広報の方法</p> <p>区内へちらし配布、ポスター掲示、SNS等で発信</p>

(裏面に続く)

5 期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ意識が向上し、省エネ行動に変化 ・家庭のエネルギー使用量の削減 ・省エネだけでなく、室内の温度差を減らすことによる、住まい手の健康の向上
6 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能をあげることは、エネルギー使用量の削減だけでなく、住まいの快適性の向上にもつながる ・既存の建物は無断熱のものも多く、DIYでも効果が見込まれる ・2022年4月22日にすべての新築建築物に省エネ基準適合を義務付ける建築物省エネ法等改正案が閣議決定され、国会に法案が提出されるなど、徐々に断熱の必要性は認知されてきているが、既存の建物への施策はまだまだ認知が低く、地道な啓蒙や周知活動が重要であり、断熱講座が必要
7 地域の人たちの事業への係わり	<ul style="list-style-type: none"> ・DIYを実施して頂く住まいは中野区内 ・幼稚園や小学校などの父の会との連携
8 事業の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる生活スタイルの変革とマッチしている ・DIYの社会的な認知度が年々向上しているので、拡大が見込まれる ・対面の講座が望ましいが、社会情勢によってはWEBでの開催も出来る
9 前年度の活動から発展させた点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動成果発表会の開催
10 事業の次年度以降の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱DIYの成果体験スペース構築
11 事業の将来的な自立の見通し及び計画	<ul style="list-style-type: none"> ・受講料の徴収や会員増による会費収入

**中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業収支計画書**

団体名	中野グリーンアソシエーション
-----	----------------

〈収入〉

項 目	金 額(円)	内 訳
自己資金	50,000	寄付金
事業に伴い区民から徴収する額		
区民公益活動推進基金からの助成	100,000	
その他の資金		
合 計	150,000	

〈支出〉

	項 目	金 額(円)	内 訳(積算根拠)
助成対象となる経費の内訳	謝礼金	30,000	①断熱DIY講座告知等委託謝金(告知素材デザイン、構成、作成等×4)2万円 ②活動成果発表会 事例発表謝金 1万円
	保険料	5,000	イベント保険(25名まで5回分)
	印刷・製本費	16,000	告知ポスター印刷費(200枚程度×4)
	消耗品等購入費	15,000	事務用品費 断熱効果資料作成用品費
	施設使用料	80,000	断熱DIY講座および活動成果発表会 会場費(会場準備も含め休日の9時~17時もしくは平日の18時~21時)5回分 中野秘密基地等 5000円(1時間)×16時間 プロジェクター等備品含む
	その他の経費	4,000	コロナ対策経費(WEB講座になった場合の当日用のシステム利用経費や対面講座の場合のマスク(一人1枚配布)や消毒液代等)×5
	小 計 : ①	150,000	
助成対象外となる経費の内訳			
	小 計 : ②	0	
	合 計 : (①+②)	150,000	

◎助成金申請額を減額して助成金の交付を決定した場合、事業の実施は可能ですか。
(可能)

中野グリーンアソシエーション活動内容

2018年3月：中野グリーンアソシエーション設立

2018年4月～ 自宅近隣（東中野周辺）住民やマンション管理組合理事に断熱の重要性周知活動開始

2018年9月：代表の林が省エネ建築診断士の資格取得

2019年10月～ 断熱DIYの実践開始

2019年3月～ 自宅近隣（東中野周辺）住民やマンション管理組合理事に断熱DIYアドバイス活動開始

2019年4月～ 中野区内での断熱DIYの効果発信開始

2020年度：区民公益活動推進基金からの助成を受け、2021年1月16日、3月27日に断熱DIY講座を実施

2021年度：区民公益活動推進基金からの助成を受け、2021年10月27日、12月11日に断熱DIY講座を実施

断熱の重要性、断熱DIYのアドバイスの例

断熱性能の指標、考え方など前提の説明。断熱DIYをしてみたの住まいの体感を伝達。断熱DIY箇所の見学会。

以下断熱DIYについて

寒いところ探し (熱いところ)



寒いところ (熱い) 探し (詳細)



自分で
中野のおうちを
快適にしてみよう！



断熱DIY講座

オンライン

テレワークの浸透率により、
おうちにいる時間が増えている方も多いと思います。
夏は冷房、冬は暖房に頼ることになりますが、
少ないエネルギーで快適に過ごす方法が断熱です。
そこで、自分で出来る(DIY: Do It Yourself)おうちの断熱の方法、
場所をお伝えしたいと思います。
ぜひ、自分でおうちを涼しくしたり、暖かくしてみましょう！



<日時>
2021.10.27(水)
18時30分-20時

参加費 無料 内容 断熱DIYの方法

●断熱の伝わる3大原則 ●断熱DIYのやり方(道具や材料) ●中野区での断熱DIYの事例

申し込みはこちら <https://bit.ly/3CwEa9N>



申し込み済みの方には後ほどZOOMのリンクをお送りします。

主催 | 中野グリーンアソシエーション お問い合わせメール | info@gna.jp(株)

*この講座は「中野区区民公益活動推進基金」からの助成を受けて実施しています



自分で中野のおうちをあたたくしてみよう！

断熱DIY体験

テレワークの浸透等により、おうちにいる時間が増えている方も多いと思います。
冬場は暖房に頼ることになりますが、
少ないエネルギーで暖かくなる方法が数種です。
そこで、自分で出来る(DIY: Do It Yourself)おうちの断熱の方法、
實際をお伝えしたいと思います。
ぜひ、自分でおうちを暖かくしてみましょ！



2021.12.11(土)

13時-16時

中野秘密基地
東京都中野区中野1丁目

※お申込み(お問い合わせ)の方に詳細の住所をお伝えいたします。

申し込みはこちら



<https://bit.ly/20CesaR>

主催 | 中野アライオンアクション お問い合わせメール | info@ga.jp(株)

※この講座は「中野区民山登運動推進会」からの助成を受けて実施しています

※COVID-19感染防止対策として、事前予約制とさせていただきます。

参加費 無料
定員 10名程度(要予約)
内容 断熱DIYの方法
内容 ①結露のメカニズム ②断熱DIYのやり方 ③断熱DIYの作業体験

団体名	なかの生涯学習サポーターの会
-----	----------------

5 設立年月日	平成 19 年 5 月 15 日
6 設立目的	中野区民の生涯学習・文化芸術の振興に寄与し、地域の生涯学習活動をサポートする人材を育成するとともに、区民が活動しやすい環境を区・指定管理者と話し合い協働して整える
7 会員数	50 人 (うち中野区在住 50 人)
8 会費	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (年額・月額 2,000 円)
9 団体の行う主な公益活動(開始時期も含めて記入)	2007年～なかのZERO本館に区民の生涯学習情報の掲示、西館に展示ガラスケース運営。 2009年～まなVIVAネットに「まちかど生涯学習」の記事を取材・掲載 2010年～区民交流イベント「歩いて探るなかの学」の開催・運営 2012年～生涯学習サポーター養成講座の開催・運営 2017年～オリパラ機運醸成事業「中野コンシェルジュ・おもてなしマップ」の発行 2019年～「中野区まちなかトイレ」の調査協力(NPO法人リーブ・ウィズ・ドリーム) 2020年～区民が作る「中野ユニバーサルデザインマップ作成講座」の開催・運営
10 主な活動地域	中野区全域
11 ホームページの有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (URL: https://www.nakano-ll-ss.com)
12 機関紙の発行	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (発行間隔: 不定期、発行1回当たりの部数 100部)
13 直近事業年度の決算額	令和 2 年度 975,466円

14 区からの助成や委託の実績 (過去3年間)

	年度	助成事業名/委託契約件名	金額
助成	令和元年	ユニバーサルデザインに基くおもてなしマップ更新事業	200,000円
	令和元年	生涯学習学び合い講座	61,820円
	令和2年	区民が作る中野ユニバーサルデザインマップ	144,000円
	令和3年	2021区民が作る中野ユニバーサルデザインマップ	300,000円
	令和3年	地域を学ぶ交流イベント 第10回歩いて探るなかの学	60,400円
	令和3年	区民発の講座を作ろう ～生涯学習・実践コーディネーター養成講座～	135,000円
委託			円
			円

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業実施計画書

団体名	なかの生涯学習サポーターの会
-----	----------------

1 事業名	2022 区民が作るユニバーサルデザインマップ
2 事業の目的	2021年度に引き続き、街を知り、地域を知り、住みやすいまちづくりにつながる見易く、分かり易いユニバーサルデザインマップの作成を行う。①2022年度は更新作業を中心に行う。②一般区民の方々の参加を募ると共に、中野にキャンパスのある明治、帝京平成大学、また東京学芸大留学生の協力を得て、多文化・多世代の多様な視点からのマップ作りを行う。行政情報、区民目線を取り入れ、区民の生涯学習を通じた社会貢献につながるマップを作成する。③①～②で作成したユニバーサルデザインマップを多くの区民に提供する方策を実施する。
3 事業の日程	令和 4年 4月 1日 (金) ～ 令和 5年 3月 31日 (金)
4 事業の内容	<p>(概要) 2021年度作成のユニバーサルデザインマップの更新を中心に行うと共に、エリア内未調査地域情報を追加する。一昨年採用したお散歩マップを動画で撮影、サポーター会のHPにアップして視覚を通じた地域情報を提供する。</p> <p>(1) 実施場所 中野区全域を関連した地区ごとに区切り、実踏を通じて調査を行う。中野駅南北地区、新井・沼袋・江古田地区、野方・鷲宮・大和地区、上高田・東中野地区、本町・中央地区、南中野地区を選定</p> <p>(2) 対象者 中野区民(生活弱者、子育て世代、介護事業所、医師、歯科、薬剤関係及び店舗) 目標人数3,000人</p> <p>(3) 内容と方法 見やすい文字フォント・分かり易い表現の実現、区域内未調査地区の踏破を実行、特に坂情報を調べる。そのために以下を学び、調査に供える。step1 2022.10.14①マップづくりの基本的ルールと方法を学ぶ ②学んだ基本を「マップマイスターになろう」で机上調査を行う。生活弱者目線から車いす対応自販機や車いすの機能や扱い方などは、実際の現地実踏調査時に事例に即して説明を加える方法を採用する。step2 ①2021.10/15～12/09 チーム毎の実踏調査. 2022.11.19全チームで中野駅南北の実踏を行う②2022.12.09 調査した情報を記載、校正を経て完成させる。step3 ①2023.01.13 再校正・出稿②2023.02.10(予備日2022.02.13)完成→配布作業</p> <p>(4) 講義・実踏等に参加できない方々の為に、講義と実踏を撮影してYouTubeとサポーター会HPにアップする。地図上からはQRコードでアクセス。</p> <p>(5) 実施体制 マップ作成実行委員会を中心とした体制を組む。スタッフ18名、一般参加者+ボランティア計15人を見込む。ボランティアは、明治大学、帝京平成大学、東京学芸大学の学生を組み込み、応募の区民を含めチーム編成を行う。</p> <p>(6) 広報の方法 サポーター会HP、Facebook、生涯学習情報誌ないせす、生涯学習大学でのアプローチ、区のお知らせ板への掲示、なかのZERO館内掲示、区施設へのチラシ配布。2022.11.13に開催されるダイバシティフェスタに参加し、2022年度版を展示して衆知を図る</p> <p>(7) その他 新型コロナウイルス感染症対策として万全を期す。手指消毒、検温、マスク着用推奨、講義終了会場の消毒作業を予定。</p>

(裏面に続く)

団体名	なかの生涯学習サポーターの会
-----	----------------

5 期待される効果	区民目線で中野区内の主要地区を実踏することは、住んでいるまちの現状を再認識すると同時に仕組みやアプローチに気づき、より住みやすい将来像を描くことが可能になる。描いた自分のまちづくりに参加することは、中野愛につながる効果が期待できる。区民の便宜に供与するユニバーサルデザインマップは、社会貢献となる生涯学習とボランティア活動の見える化の実現、生き甲斐につながり、まちづくりに参加する区民を養成することになる。
6 事業の必要性	区内のどこに出かけるにも、スマホを利用すれば即座にルートを知ることができる。但し、そこに行きつくための詳しい道路状況（特に坂や階段等）や目的地のトイレ情報（多機能トイレやオストメイト、おむつ替えベッド等）は反映されていない。またスマホを駆使できない人たちもいる。そこには街の知りたい情報が記載された紙ベースマップが役に立つ。また、バリアフリー施設やユニバーサルデザインに基いて改装された区内施設等を紙ベースで作成することは、区民の必要に応えることになる。
7 地域の人たちの事業への係わり	一般区民、中野区ユニバーサルデザインサポーター、生涯学習大学在学学生、中野にキャンパスを展開する大学在学学生、町会、企業、地域活動団体の参加・協力のもとに事業を推進する。暮らしやすい街、弱者にやさしい街を調べる。その他、区町連、区商連、医師会、薬剤師会、関東バス、京王バス、中野区観光協会、中野区介護事業所連絡会、MIKANネットワーク等の協力も得て進める。
8 事業の特長	①広く中野区民、学生、町会等から参加を得てマップ作成作業を行う。 ②マップ作成事業を学びと実践を組み合わせた事業として成立させる。 ③普段は気づかない車いす対応トイレ、オストメイト対応トイレ、ベビールームのある場所、中野区内の駅、お店、トイレ、観光名所、重要文化財等の掲載、坂の傾斜等を知ることは、学んだ知識を地域に還元する一助となる。団体の達成目標である区民が生涯学習のサポーターとなる事につながる事業である。
9 前年度の活動から発展させた点	①講義と実踏動画をサポーター会HPにも掲載する②資金調達→広告枠を設けて協賛金を募る③完成マップの配布先の拡大→子育て地域活動団体、中野区観光協会の駅頭ラック使用を追加する。その他施設など昨年同様の周知を図る④トイレ表示項目に、洗浄便座、着替え台等の新たな項目を追加する。⑤明治大学横田ゼミが作る「外国人の為の避難所マップ」とコラボする⑥中野区立南中野中学ボランティア活動「通学路バリアフリー情報」調査結果をマップに反映する。⑦マップ内避難所とプレイパーク開催公園を表示する⑧お散歩マップルートの動画掲載
10 事業の次年度以降の取組予定	地域は常にその態様を変え、日々変化の過程を歩んでいる。従って、マップ掲載事項の更新は必須の作業となる。来年度も情報の更新を行い、区民の便宜に供するべく取り組んでいきたい。
11 事業の将来的な自立の見通し及び計画	このユニバーサルデザイン事業は、本来一地域ボランティア団体の事業にとどまるものではなく、行政課題として捉えられる側面が多々ある。行政と区民が協働して実行して行ける事業の継続を行って行きたい。

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業収支計画書

団体名	なかの生涯学習サポーターの会
-----	----------------

〈収入〉

項目	金額(円)	内 訳
自己資金	32,300	
事業に伴い区民から徴収する額	20,000	40名×500円
区民公益活動推進基金からの助成	214,400	
その他の資金	55,000	協賛金(武蔵野療園等)
合 計	321,700	

〈支出〉

項目		金額(円)	内 訳(積算根拠)
助成対象となる経費の内訳	謝礼金	72,500	リーブ・ウィズ・ドリーム30,000円、千正英五20,000円、イ・ミンジャン10,000円、ボランティア費12,500円
	保険料	14,000	受講者+ボランティア 40名×350円
	印刷・製本費	204,000	チラシ印刷9,000円、データ加工料60,000円、印刷費124,000円、コピー1,000円、アイコンシール代10,000円
	消耗品等購入費	21,200	インク代15,000円、コピー用紙1,200円、ボールペン、マジック、ファイル等文房具5,000円
	施設使用料		
	その他の経費	10,000	レターパック等送料
小 計 : ①		321,700	
助成対象外となる経費の内訳			
	小 計 : ②	0	
合 計 : (①+②)		321,700	

◎助成金申請額を減額して助成金の交付を決定した場合、事業の実施は可能ですか。
(可能 ・ 不可能)



2022
中野

区民が作る

ユニバーサルデザイン UNIVERSAL DESIGN MAP マップ

作成講座

受講生募集!

好評受付中 ※申し込み受付は裏面参照

「ユニバーサルデザイン」について
学んで!調べて!マップを作ってみよう!

講座のスケジュール

時間 午後14:00~16:00 会場 なかのZERO

STEP 1 調査 フィールドワーク	①	10月14日(金)	マップの調査の方法と実践を学ぶ
	②	10月 ~ 11月	各チーム毎に実踏調査
STEP 2 制作 ワークショップ	①	11月19日(土)	全チーム合同実踏 中野駅南北
	②	12月9日(金)	調査結果をマップに反映・1次校正
	③	1月13日(金)	2次校正出稿・再調査
STEP 3 まとめ ワークショップ	①	2月10日(金)	区民配布準備

中野区区民公益活動推進基金助成事業

- 主催 : なかの生涯学習サポーターの会 (マップ作成講座 実行委員会)
- 共催 : なかのZERO指定管理者
- 会場 : なかのZERO西館



公式サイト



facebook

※ユニバーサルデザイン?

性別・年齢・国籍・文化的背景・障害の有無に関わらず、誰でも簡単に使えるデザインを言います。



2021
年度

生涯学習・実践コーディネーター養成講座

「区民発の講座をつくろう」

受講生募集!!

みんなの力で新しい講座を企画し
開催してみよう!



東京学芸大学
教育学部准教授
倉持 伸江氏
9/3・11/19



NPO法人まつど
NPO協議会理事
阿部 剛氏
9/24

企画した講座の開催は?
グループ毎(テーマ別)に企画された講座開催は11月19日以降にグループの状況に合わせて開催

こんなテーマも参考に...
中野の歴史をひも解く・防災(地震・豪雨)について・環境・ゴミ・SDGs・終活を考る・公園の活用について...

日程 ◆曜日 金曜日 ◆時間 午前9:30~11:30 ◆会場 なかのZERO西館学習室

Step1 準備の ワークショップ	①	9月3日(金)	9:30-11:30	<講義> 倉持伸江氏 「生涯学習はなぜまちづくりにつながるのか」	学習室4
	②	9月24日(金)	9:30-11:30	<講義> 阿部剛氏 「まなび」が暮らしにつながる講座企画のイロハを学ぶ	学習室2
Step2 企画の ワークショップ	①	10月1日(金)	9:30-11:30	選択したテーマごとにグループワーク 区民を募集して共に学び、実践する講座を開設する内容に関するワークを展開する。	学習室1
	②	10月15日(金)	9:30-11:30	グループ毎に講座の骨格を組み立てていく 実施方法の具体的な企画書を作ってみる	学習室1
	③	11月5日(金)	9:30-11:30	企画内容に基づき、時期、場所、講座内容などを検証。 開講に備える	学習室1
Step3 成果の ワークショップ	まとめ	11月19日(金)	9:30-11:30	<講義> 倉持伸江氏 これからのテーマ別講座開催に向けて	学習室1

※別途打ち合わせ日程がある場合あり

自分も楽しい、みんなも楽しい生涯学習!

- ◇主催：なかの生涯学習サポーターの会
- ◇共催：なかのZERO指定管理者
- ◇協力：公益財団法人 上廣倫理財団
(講師招聘協力)

新型コロナウイルス感染症防止対策には充分配慮して開催します

<お申込み方法>
裏面をご覧ください



参加者募集

第10回「みんな」で地域をまなぶ交流イベント

歩いて探るなかの学

「歩いて探るなかの学」は、街かどに残された文化財や史跡から歴史を学び、受け継がれてきた伝統や産業・商店街の価値を再認識することによって、かけがいの無い文化を守ることの大切さを知り、「なかの」への郷土愛を育て、地域の活性化、発展に寄与することを目的とします。



早春の哲学堂を訪ね、中野の歴史を学ぶ



新井薬師公園→リサイクル展示場→哲学堂
→江古田古戦場→歴史民俗資料館→沼袋区民活動センター

日時：2022年2月25日(金)

集合時間：午前9時(午前12時解散予定)

集合場所：新井薬師公園

コロナウイルス感染防止のためマスク着用、
飲物は各自持参をお願いします

関東バス・京王バス「北野神社」下車歩2分。中野駅北口関東バス⑩番乗場江古田の森行①番乗場江古田駅行、京王バス⑦番乗場練馬駅行

定員：20名(応募多数の場合は抽選)

参加費：500円(行事保険代含む)当日集合場所にてお支払いください。

荒天・コロナ感染拡大の際は中止になる場合があります。中止は事前通知

お申し込み方法

1回につき2名まで申し込み可 全員の下記必要事項をご記入ください
①住所 ②氏名(ふりがな) ③性別 ④年齢 ⑤電話番号

記入方法

往復ハガキ、又はないせすHP(ないせすアカデミア)にてお申し込みください。
応募締め切り：2月12日(土)必着



宛先・問い合わせ先

〒164-0014中野区中野2-9-7 なかのZERO生涯学習支援課
「歩いて探るなかの学」係宛 TEL 03-5340-5011 (受付時間：9:00~18:00)

主催：なかの生涯学習サポーターの会「歩いて探るなかの学」実行委員会
共催：なかのZERO指定管理者

なかの生涯学習サポーターの会



まなビーバー 中野区生涯学習キャラクター

2021.3版

私たちの活動

中野区民の生涯学習、文化芸術活動の振興に貢献し、地域の生涯学習活動をサポートする人材(生涯学習サポーター)を育成すると共に、区民が活動しやすい環境を、区、なかのZERO指定管理者と話し合い、協働して整えることを目的としています。



【講座・イベント部門】 イベント・講座の企画と運営

- ・「生涯学習サポーター養成講座」の企画運営
- ・中野区の歴史や由緒を訪ね歩く区民との交流イベント「歩いて探るなかの学」を開催
- ・「もっと知りたいなかの学」随時
- ・中野区ユニバーサルデザインマップ作成事業
協力:NPO法人リーブ・ウィズ・ドリーム



【展示・掲示部門】 なかのZEROから区民の生涯学習情報を発信！



- ・展示:なかのZERO西館1F事務所前のガラスケースに区民のミニギャラリーとして作品を展示
- ・掲示:なかのZERO本館図書館に向かう階段手前のスペースに区民主催の講座・イベントのお知らせ、区内の施設案内、活動紹介などを掲示
- ※ 展示・掲示希望は随時受け付け



【研修・交流部門】 会員同士の研修、他地域の団体との交流



- ・他地域団体との交流随時
- ・「学び隊」会員の研修、学びの場
- ・「ZEROカフェ」会員同士の情報交換
ミニ講座



【広報・情報部門】 中野区の生涯学習情報サイト・「まなVIVAネット」に参加



- ・中野区の生涯学習団体取材し中野区生涯学習情報サイト「まなVIVAネット」内のコラム「まちかど生涯学習」に3か月に一度投稿

このチラシはUDフォントを使用して作成しています

なかの生涯学習サポーターの会HP: <https://www.nakano-ll-ss.com/>

Facebook「なかの生涯学習サポーターの会」



団体名	一般社団法人ねこのて
-----	------------

5 設立年月日	平成22年4月8日
6 設立目的	住居や仕事のいずれか一方又は両方が不安定であったり失った人たちに住居の提供や就労の支援を行い自立を促すとともに、地域で孤立しがちな高齢者や障害者等の居場所を作り安定した地域生活の継続を支援し、もって社会的に支援を必要とする人々の福祉を増進することを目的とする。
7 会員数	16人 (うち中野区在住 1人)
8 会費	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (年額 <input checked="" type="radio"/> 月額 6000円)
9 団体の行う主な公益活動(開始時期も含めて記入)	社会福祉法第2条第3項第8号に基づく、無料低額宿泊所 平成22年4月より実施、令和3年5月1日付日常生活支援住居施設認可 平成29年より、法人後見開始
10 主な活動地域	東京都中野区
11 ホームページの有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 (URL: ne-ko-no-te.com)
12 機関紙の発行	<input checked="" type="radio"/> 無・有 (発行間隔: 、発行1回当たりの部数)
13 直近事業年度の決算額	令和3年度 -1,398,611円

14 区からの助成や委託の実績 (過去3年間)

	年度	助成事業名/委託契約件名	金額
	令和2年度	中野区子ども食堂運営助成金	300000円
	令和2年度	中野区民公益活動推進基金	91802円
	令和3年度	中野区子ども食堂運営助成金	300,000円
	令和3年度	中野区民公益活動推進基金	156,143円
委託			円
			円
			円
			円

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業実施計画書

団体名	一般社団法人ねこのて
-----	------------

1 事業名	ねこのて図書室小学生の勉強部屋
2 事業の目的	学校に通えない、通いたくない子たちがいます。また、学校には来ているのだけど、先生の言うことがよくわからない子たちもいます。社会生活を送る上で、知っていないと生きていけないこと、知っている生きやすくなることもあります。そのようなことを楽しみながら学んで欲しいと願います。主に、小学校低学年を中心に小学校での基礎科目を学びます。兄弟がいてお家では勉強できない子の勉強部屋に鍵っ子の居場所ともなる。
3 事業の日程	令和4年7月4日(月)～05年3月31日(金)
4 事業の内容 (1)実施場所 (2)対象者 (3)内容と方法 (4)実施体制 (5)広報の方法 (6)その他	週3日、こども図書室を開室し、小学生の勉強や遊びを通して安心安全な居場所を作る。 (1)わかば荘図書室・近隣の公園等 (2)宿題を見てもらいたい、今日の習ったところをもう一度教えてほしい、家では兄弟がうるさくて勉強できない、親の帰りを待っている等の小学生を対称としている。 (3)臨床発達心理士を中心に、こどもの教育に携わっていた経験豊かな教師の他関心のある学生等ボランティアが、こどもたちの宿題や自習のお手伝いをする。また、学校の勉強だけでなく遊び・活動を通して知識を身につけてもらう。自然観察・経験として、近隣の公園へ出かける 図書室での学習は費用は無料である。 (4)週3日午後2時～6時まで開室。子どもは、自由に参加でき、宿題や自習もできる。 (5)ホームページへ載せる。チラシを作成し区役所、子ども家庭センター、福祉事務所等に配布。中野社会福祉協議会に助言を求める。「こどもホットinなかの」にも情報をのせてもらう。

(裏面に続く)

団体名	一般社団法人ねこのて
-----	------------

5 期待される効果	学ぶことの楽しさを覚え、安全で、楽しい場所として、こどもたちの居場所を作るにもなる。
6 事業の必要性	基本的な知識を理解していないと、将来の就職など生活に支障を来す。それを予防するために、無料で誰でも参加できる学習の場所が必要である。それと同時に、かぎっ子や家に自分の一人になれる場所のない子たちの居場所も必要である。
7 地域の人たちの事業への係わり	民生委員や学習支援をしている他団体から、小学生で無料塾を探している方がいれば、紹介を受ける、また、運営についても助言を頂く。
8 事業の特長	当法人は、いわゆるホームレス支援として無料低額宿泊所を12年運営している。入所者には、障害や病気もある、家族からのDVや、周りからのいじめを受け、学校に通えなかった人たちが多くいる。貧困の連鎖を防ぐには、教育が必要と言われる。まず、楽しく学べることが大事と考え、学ぶきっかけ作りもできる。
9 前年度の活動から発展させた点	昨年利用した、羽生の杜は、豊かな自然があり、自然観察もできた。今年は、近隣の公園等で自然の観察を行う。 近隣の方たちの技術や知識を披露・教授していただく。
10 事業の次年度以降の取組予定	継続し、発展させたい。
11 事業の将来的な自立の見通し及び計画	寄付をつのる。

中野区区民公益活動推進基金からの助成
事業収支計画書

団体名	一般社団法人ねこのて
-----	------------

〈収入〉

項目	金額(円)	内 訳
自己資金	205,800	
事業に伴い区民から徴収する額		
区民公益活動推進基金からの助成	300,000	
その他の資金		
収入の合計	505,800	

〈支出〉

項目	金額(円)	内 訳 (積算根拠)
助成対象となる経費の内訳	謝礼金	444,000 コーディネーター50000 講師 1日3000円X週3X月4X8=288000 学習ボランティア交通費1日1000円=96000 自然観察講師 10000
	保険料	5,000 図書室傷害保険
	印刷・製本費	20,000 ちらし作成、印刷
	消耗品等購入費	20,000 教材・遊具
	施設使用料	
	その他の経費	16,800 切手代 84円x200枚
小 計 : ①	505,800	
助成対象外となる経費の内訳		
	小 計 : ②	
支出の合計 : ①+②	505,800	

◎助成金申請額を減額して助成金の交付を決定した場合、事業の実施は可能ですか。

(可能 ・ 不可能)



一般社団法人をこのて
自立支援ホーム わかば荘

T164-0011
 東京都中野区中央2-57-6
 ☎03-6279-2320 昼のみ受付
 (または03-6104-4979へ)
 最寄大江戸線「中野坂上駅」A2出口 徒歩10分
 丸の内線「中野坂上駅」2出口 徒歩12分



自立支援ホーム わかば荘とは？



わかば荘は、皆様の自立の
お手伝いをする福祉施設です。

自立支援ホーム
わかば荘

● 少人数のアットホームなところです。
各室にはエアコンがついた個室が用意されていて、
管理人も24時間常駐しています。

● 朝食と専属の調理員が作った夕食を、
食卓で提供します。

● 就労に欠かせない住民票が設定できます。
ハローワーク、ジョブステーション等と連携し、
就労支援を行います。



● 高齢・障害などの様々な分野の社会福祉士が関わり、
相談に応じ必要な支援に繋がります。
(愛の手帳、自立支援医療、年金手続き等)

● 医療機関は施設の近くにあり、
心理職による、心理相談、心理テストを実施し、
自立に向けた支援をいたします。

● 地域での安定した生活をめざし生活支援（振興管理、掃除、洗濯等）を行います。
退所後も「居場所」として利用できます。

利用料

家賃

69,800円/月

食費

(前、夕) 800円/日

共益費

21,000円/月

一般社団法人をこめて
自立支援ホーム わかば荘
〒104-0011
東京都中野区中央 2-57-6

入居のご相談&お問い合わせはこちらどうぞ
☎03-6279-2320 担当 伊藤
(もしくは090-8104-4973へお掛けください。)

3年度の活動



羽生の杜へバスハイク
自然を満喫



もみがらで焼き芋づくり



クレーンで大空へ



紙飛行機を作って飛ばしました



イーストウエスト日本語学校の学生さんに、お国の紹介をしてもらいました

こども食堂のお弁当



ボランティアの方たち

